

内部進学科

付属大学内部進学コース

私立・国立大学の付属高校生徒で
付属大学への進学希望者

付属大学内部進学条件は様々ですが、大きく分けて次の3つに分けられます。

- ① 中間・期末試験などの高校3年間のある一定水準の学業成績が必要なケース
- ② 内部推薦テストを実施するケース
- ③ 上記①と②を併用するパターン

また、最近の傾向として「付属高校から付属大学への推薦を留保したまま他大学を受験し不合格なら推薦権を行使出来る。」という受験生にとってはありがたい制度を設けた大学もあります。
早い時期に内部進学制度を確認しましょう。

当会での内部進学希望高校生の高校1年・2年時の基本方針は

徹底的な**定期テスト対策**（「個別指導会の定期テスト対策」を参照）で**内申点UP**です。

内部推薦テスト（上記②、③）があるなら、遅くとも高校3年からはこれを視野に入れた勉強が必要になります。

当会から付属大学へ内部進学した例です。 （ ）内は内部進学条件

日大一高・二校・鶴ヶ丘	→	日大各学部	（ 評定平均+統一テスト ）
法政二校	→	法政経営学部	（ 評定平均・TOEIC で判定 国立大受験後の推薦行使が可能 ）
明治大学中野（男子）	→	明治大学商学部	（ 普段の成績+実力テスト 比重 77：23 国立大受験後の推薦行使が可能 ）
早稲田高校（男子）	→	早稲田大学先進理工	（ 普段の成績と実力テスト比重 7：8 ）
明大中野高校（男子）	→	明治大学理工	（ 普段の成績と高2の2月プレテスト、高3の11月推薦テスト） など